

日本語学習についてのアンケート調査

貴校の概要についておたずねします

問1 貴校名

問2 貴校における夜間学級の教職員体制を教えてください。【別紙の表に記入ください】

問3 生徒の属性について教えてください。(○はいくつでも)

1. 特別永住外国人
2. 特別永住外国人以外の外国人
3. 特別永住・非特別永住不明の外国人
4. 日本の義務教育未修了者
5. 不登校等により日本の義務教育を十分に受けられなかった義務教育修了者
6. その他

【※問4~5について、学校要覧等があれば添付いただいても構いません】

問4 生徒の学年別の人数を教えてください。(2021年5月1日現在)

	1年	2年	3年	合計
在籍生徒総数(人)				
外国籍の生徒数(人)				
うち日本語指導が必要な生徒数(人)				

問5 生徒の年齢別の人数を教えてください。

	15~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	合計
全体人数							
うち外国籍の生徒数							

外国籍の生徒への支援についておたずねします

問6 学級編成・指導体制上の工夫を行っていますか。(○は1つだけ)

1. 外国籍の生徒を対象とした学級の設置
2. 日本国籍含め教科によって習熟度別に学級編成
3. 日本語指導が必要な生徒に対する特別の教育課程の編成・実施(取り出し授業)
4. 複数の教職員による個に応じた指導
5. 高校受験を希望するなど、特別な支援を必要とする生徒への個別の対応
6. 日本語指導が必要な生徒への日常生活での日本語使用場面を想定した練習
7. 生徒同士のコミュニケーション活動の取り入れ(各種行事含む)
8. その他
9. 特に行っていない

問7 教職員の研修についておたずねします。日本語指導のために、教職員はどのような取組を実施していますか。(○はいくつでも)

1. 校内で講師を招聘するなど学ぶ機会を設けている
2. 近畿夜間中学校連絡協議会の部会活動などに参加している教職員がいる
3. 日本語教師の資格取得を目指す教員がいる
4. その他()

問8 生徒は自宅などで学習するためのタブレット・スマートフォンなどは保有していますか。(○は1つだけ)

1. ほとんどの生徒が保有している
2. 保有している生徒としていない生徒がおおむね半々である
3. ほとんどの生徒が保有していない
4. わからない

問9 今後授業等でICTを活用する場合の不安点があれば教えてください。(上位3つに○)

1. 機器の不具合や、教室間の設備の違いにより均質的な授業ができなくなってしまうことが心配
2. ICT環境や教材作成に関する講師の質問に対応できる人材が不足している
3. 慣れるまでに時間がかかる
4. デジタルデータの管理に不安がある
5. 今までの教え方に慣れていたので新しい教え方に対応できるか不安がある
6. 電子教材(イラストなど)よりレリア(本当のものを使った教材)を使ったほうが良い
7. 効果的な使い方が分からない。何が出来るのか分からないので語彙や文法提示以外の使い方を知りたい
8. 数字化された効果があればすぐに導入したいがICTを導入したことによる具体的な効果が示された資料が不足している
9. プレゼンテーションソフトを使うことで学生とのやりとりを活かした授業ができなくなってしまうことが心配
10. その他()

問10 外国籍の生徒の夜間学級での学習ニーズは何でしょうか。(上位3つに○)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 高等学校に入学するため | 2. 職業資格を取得するため |
| 3. 中学校教育を修了しておきたいため | 4. 中学校の学力を身につけたいため |
| 5. 読み書きができるようになるため | 6. 日本語が話せるようになるため |
| 7. その他 () | |

問11 現在の、他の日本語教室や組織、団体等との交流・連携状況をお聞かせください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------|--|
| 1. 大阪市内の他の夜間学級と定期的に情報交換をしている。 | |
| 2. 大阪市内の他の夜間学級と勉強会などを開催している | |
| 3. 大阪市以外の夜間学級と交流している | |
| 4. 小学校と情報交換会をしている | |
| 5. 昼間部と定期的な情報交換をしている | |
| 6. 外国人支援団体と連携して生徒を支援している | |
| ⇒①具体的な連携先： () | |
| ②交流内容： () | |
| 7. 企業や個人事業者などと情報交換など連携している | |
| ⇒①具体的な連携先： () | |
| ②交流内容： () | |
| 8. 連合振興長会や地域活動協議会、各種団体と交流している。 | |
| ⇒①具体的な連携先： () | |
| ②交流内容： () | |
| 9. その他 () | |

問12 今後交流・連携していきたい他の日本語教室や組織、団体があれば、その名称(組織、団体)と具体的な内容をお聞かせください。

--

問13 今後、市内の夜間学級で外国人生徒を受け入れるにあたり支援してほしいこと、市内の日本語教育体制を強化するにあたり、貴校が協力できることは何でしょうか。

- | |
|--------------|
| 1. 支援してほしいこと |
| |
| 2. 協力できること |

別紙

問2 貴校における夜間学級の教職員体制を教えてください。

それぞれの教職員について該当するものに○、または記入をお願いします。

教諭、講師については、同じ職種で複数いらっしゃる場合は、

A、B、Cなどの表記をつけて記入をお願いします

(行が足りなければ追加してください)。

それぞれの定義については、下記を参照ください。

職名	専任	兼任	担当教科	日本語学級の受持ち	日本語指導資格の有無
(記入例) 教諭A	○		国語、社会	○	○
校長					
教頭					
教諭A					
教諭B					
教諭C					
講師A					
講師B					
養護教諭					
日本語指導者					
通訳					
ボランティア					

○「専任」とは、主として当該夜間中学に勤務する者をいう

○「兼任」は、下記に例示するようなケース

- ・週2日勤務、1日4時間の臨時職員として勤務
- ・臨時の養護教諭が週1日(4時間)弱夜間で勤務し、その他の時間他校で勤務
- ・他の学校で勤務するが、担当教科の授業時のみ夜間学級に出勤
- ・校長が本務校と兼務校(夜間学級あり)を兼任しており、曜日により勤務校を決定
- ・昼間の勤務に引き続き勤務し、時間外勤務として対応

○ボランティアとは、学校外の人で、通訳を含め何らかの支援を行う人を指す

日本語学習ニーズについてのアンケート調査

団体名/機関名

貴団体および貴機関についておたずねします

問1 貴団体および貴機関の運営主体は何ですか。(〇は1つだけ)

1. 自治体 2. NPO 3. 任意団体 4. 財団法人 5. ボランティア

問2 貴団体および貴機関で行っている活動内容を教えてください。(〇はいくつでも)

1. 外国人の相談対応 2. 外国人への生活情報の提供
 3. 外国人への生活支援 4. 日本語学習の支援
 5. 外国人への就職支援 6. 地域住民との交流の企画
 7. 通訳派遣、翻訳
 8. 日本文化を紹介するための活動(節分や七夕などのイベントなど)
 9. 外国の文化を紹介する活動(衣装や料理、風習、言葉など)
 10. その他()

外国人住民からの相談状況等についておたずねします

問3 貴団体および貴機関が支援をしている、または、相談を受ける相談者について、以下の項目を教えてください。

①支援をしている、または相談を受ける相談者の国籍について、多いもの上位3つを教えてください。(〇は3つまで)

1. 韓国・朝鮮 2. 中国 3. ベトナム 4. フィリピン 5. 台湾
 6. ネパール 7. インドネシア 8. アメリカ 9. タイ 10. ブラジル
 11. インド 12. その他()

②支援をしている、または相談を受ける相談者の在留資格について、多いもの上位3つを教えてください。(〇は3つまで)

1. 特別永住者 2. 永住者 3. 定住者 4. 日本人の配偶者等
 5. 永住者の配偶者等 6. 技術・人文知識・国際業務 7. 技能実習
 8. 特定技能 9. 技能 10. 留学 11. 家族滞在
 12. 特定活動 13. その他()

③支援をしている、または相談を受ける相談者の年齢について、多いもの上位3つを教えてください(〇は3つまで)

1. ~19歳 2. 20~29歳 3. 30~39歳 4. 40~49歳
 5. 50~59歳 6. 60~69歳 7. 70~79歳 8. 80歳~

問4 外国人からの相談内容について、多いもの上位3つを教えてください。(〇は3つまで)

1. 日本語学習について 2. ビザ(在留資格の変更や日本国籍の取得等)について
 3. 地域の生活ルールやマナーについて 4. 地域住民との交流、付き合いについて
 5. 仕事について(職探し含む) 6. 子育て、教育について
 7. 住まいについて 8. 医療、福祉、介護について
 9. 経済的支援について 10. 行政手続きについて
 11. その他()

問5 問4で「1. 日本語学習について」と回答された方におかがいします。日本語学習に関する相談があった際に、どのような対応をされていますか。(〇はいくつでも)

1. 貴団体、貴機関で対応 2. 行政機関を紹介する
 ⇒具体的に()
 3. 行政主催の日本語教室を紹介する 4. 行政以外が運営している日本語教室を紹介する
 5. 市内の日本語学校を紹介する 6. 市内の夜間学級を紹介する
 7. その他()

問6 外国人のニーズに対して、現在の大阪市の日本語教育資源は足りていると思いますか。(〇は1つだけ)

1. 足りている 2. 足りていない
 3. わからない

問7 問6で「2. 足りていない」と回答された方におかがいします。大阪市内にどのような日本語教育資源が充実すればよいと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 無料・安価な日本語教室・学校
 2. 夜間・土日に学べる日本語教室・学校
 3. 家や職場の近くで学べる日本語教室・学校
 4. ゼロ初級レベルの日本語が学べる日本語教室・学校
 5. 日常会話が学べる日本語教室・学校
 6. ビジネス会話が学べる日本語教室・学校
 7. 読み書きが学べる日本語教室・学校
 8. 業種別の専門的な日本語が学べる教室・学校
 9. 日本語指導の資格を持った日本語教師が教えてくれる日本語教室・学校
 10. オンライン(Zoomなど)日本語学習の場
 11. 派遣型に日本語学習の場(企業等へ日本語教師を派遣するなど)
 12. 託児サービス付きや子どもと一緒に参加できる日本語教室・学校
 13. e-learningなど自習できる日本語学習教材
 14. その他()
 15. わからない

日本語学習ニーズについてのアンケート調査

貴団体についておたずねします

問1 貴団体の属性について教えてください。(あてはまるものいくつかでも)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 監理団体 | 4. 人材紹介会社 |
| 2. 登録支援機関 | 5. 行政書士事務所 |
| 3. 人材派遣会社 | 6. その他 () |

問1で「1. 監理団体」と回答した方のみおたずねします

問2 貴団体の母体について教えてください。(あてはまるもの1つだけ)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 商工会議所又は商工会 | 4. 農業協同組合 |
| 2. 中小企業団体 | 5. 漁業協同組合 |
| 3. 職業訓練法人 | 6. 公益社団法人又は公益財団法人 |
| | 7. その他 () |

全員におたずねします

問3 支援・監理している企業は何社程度ありますか。(あてはまるもの1つだけ)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 1~5社 | 4. 20~30社 |
| 2. 6~10社 | 5. 30社以上 |
| 3. 11~20社 | |

問4 支援・監理している企業の主な業種は何ですか。(あてはまるものいくつかでも)

- | | | |
|----------------|------------|-------------|
| 1. 介護 | 6. 建設 | 11. 農業 |
| 2. ビルクリーニング | 7. 造船・舶用工業 | 12. 漁業 |
| 3. 素形材産業 | 8. 自動車整備 | 13. 飲食料品製造業 |
| 4. 産業機械製造業 | 9. 航空 | 14. 外食業 |
| 5. 電気・電子情報関連産業 | 10. 宿泊 | 15. その他 () |

問5 外国人雇用支援の実績について、延べ支援人数を教えてください。(2020年度実績)

人

問 5-1 外国人雇用支援の実績について、上位 5 位までの国籍とその延べ人数を教えてください。(2020 年度実績)

①上位 1 位の国籍

- | | |
|----------|------------|
| 1. 中国 | 5. インドネシア |
| 2. ベトナム | 6. タイ |
| 3. フィリピン | 7. インド |
| 4. ネパール | 8. その他 () |

①上位 1 位の国籍の延べ人数

人

②~⑤も上記と同様

問5-2 外国人雇用支援の実績について、上位5位までの在留資格とその延べ人数を教えてください。(2020年度実績)

①上位 1 位の在留資格

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 技術・人文知識・国際業務 | 5. 留学 |
| 2. 技能実習 | 6. 永住者 |
| 3. 特定技能 | 7. 定住者 |
| 4. 特定活動 | 8. その他 () |

① 上位 1 位の在留資格の延べ人数

人

②~⑤も上記と同様

問6 ここ5年間で、支援した外国人の国籍、在留資格に変化はありますか。(あてはまるものいくつかでも)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 特定の国籍の方が増えた | 4. 特定の在留資格が減った |
| 2. 特定の国籍の方が減った | 5. 特に変化はない |
| 3. 特定の在留資格が増えた | 6. その他 () |

問6-1 増えた国籍について、下記からお選びください。(あてはまるものいくつかでも)

- | | |
|----------|------------|
| 1. 中国 | 5. インドネシア |
| 2. ベトナム | 6. タイ |
| 3. フィリピン | 7. インド |
| 4. ネパール | 8. その他 () |

問6-2 減った国籍について、下記からお選びください。(あてはまるものいくつかでも)

- | | |
|----------|------------|
| 1. 中国 | 5. インドネシア |
| 2. ベトナム | 6. タイ |
| 3. フィリピン | 7. インド |
| 4. ネパール | 8. その他 () |

問6-3 増えた在留資格について、下記からお選びください。(あてはまるものいくつかでも)

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 技術・人文知識・国際業務 | 5. 留学 |
| 2. 技能実習 | 6. 永住者 |
| 3. 特定技能 | 7. 定住者 |
| 4. 特定活動 | 8. その他 () |

問6-4 減った在留資格について、下記からお選びください。(あてはまるものいくつかでも)

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 技術・人文知識・国際業務 | 5. 留学 |
| 2. 技能実習 | 6. 永住者 |
| 3. 特定技能 | 7. 定住者 |
| 4. 特定活動 | 8. その他 () |

外国人への支援について

問7 貴団体では対応している言語について教えてください。(あてはまるものいくつかでも)

- | | |
|----------|------------|
| 1. 英語 | 6. インドネシア語 |
| 2. 中国語 | 7. タイ語 |
| 3. ベトナム語 | 8. ヒンドゥー語 |
| 4. タガログ語 | 9. その他 () |
| 5. ネパール語 | |

問8 貴団体が外国人に対して行っている支援について教えてください。(あてはまるものいくつかでも)

- | | |
|----------------------------------|----------------------|
| 1. 行政手続きの支援 | 7. 定期的な面談による相談支援 |
| 2. 住宅確保のための支援 | 8. けがや病気などの相談、対応 |
| 3. 日常生活に必要な契約の支援(銀行、携帯、ライフラインなど) | 9. 地域との交流支援 |
| 4. 母語での生活オリエンテーション | 10. 通訳の派遣 |
| 5. 日本語での生活オリエンテーション | 11. 生活情報・行政情報などの多言語化 |
| 6. 日本語学習の支援 | 12. 特に行っていない |
| | 13. その他 () |

問8で「6. 日本語学習の支援」と回答した方にのみおたずねします

問9 具体的にどのような日本語学習の支援を行っていますか。(あてはまるものいくつかでも)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 貴団体の従業員による日本語教育 | 5. 地域の日本語教室の紹介 |
| 2. 外部の講師による日本語教育 | 6. 外国人の家族への日本語学習支援 |
| 3. 日本語学習教材の提供 | 7. その他 () |
| 4. 日本語の検定試験等の受験費用の負担 | |

問10 外国人の日本語学習の支援をするにあたって工夫していること、課題に感じていることがあれば教えてください。

日本語学習・支援のニーズについておたずねします

問11 ここ5年間で支援している外国人の日本語学習ニーズに変化はありますか。(あてはまるもの1つだけ)

- | | |
|----------|------------|
| 1. 増えている | 3. 特に変わらない |
| 2. 減っている | 4. わからない |

問12 ここ5年間で企業からの日本語学習支援ニーズに変化はありますか。(あてはまるもの1つだけ)

- | | |
|----------|------------|
| 1. 増えている | 3. 特に変わらない |
| 2. 減っている | 4. わからない |

問13 外国人や企業からのニーズに対して、現在、大阪市内の日本語教育資源は足りていると思いますか。(あてはまるもの1つだけ)

- | | |
|-----------|----------|
| 1. 足りている | 3. わからない |
| 2. 足りていない | |

問13で「2. 足りていない」と回答した方にのみお伺いします。

問14 大阪市内にどのような日本語教育資源が充実すればよいと思いますか。(あてはまるものいくつかでも)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 無料・安価な日本語教室・学校 |
| 2. 夜間・土日に学べる日本語教室・学校 |
| 3. 家や職場の近くで学べる日本語教室・学校 |
| 4. ゼロ初級レベルの日本語が学べる日本語教室・学校 |
| 5. 日常会話が学べる日本語教室・学校 |
| 6. ビジネス会話が学べる日本語教室・学校 |
| 7. 読み書きが学べる日本語教室・学校 |
| 8. 業種別の専門的な日本語が学べる教室・学校 |
| 9. 日本語指導の資格を持った日本語教師が教えてくれる日本語教室・学校 |
| 10. オンライン (Zoom など) 日本語学習の場 |
| 11. 派遣型の日本語学習の場 (企業等へ日本語教師を派遣するなど) |
| 12. 託児サービス付きや子どもと一緒に参加できる日本語教室・学校 |
| 13. e-learning など自習できる日本語学習教材 |
| 14. その他 () |
| 15. わからない |

全員におたずねします

問15 企業は、雇用している外国人が日本語学習の場に参加するにあたり、必要となる費用について、どの程度負担が可能と考えている場合が多いと思いますか。(あてはまるもの1つだけ)

1. 費用すべてを企業が負担する
2. 費用の一部であれば企業が負担する
3. 企業が費用を負担するのは難しい
4. その他 ()

問16 企業は、雇用している外国人が日本語学習の場に参加するにあたり、仕事との時間のバランスについて、どの程度配慮が可能と考えている場合が多いと思いますか。(あてはまるものは1つだけ)

1. 積極的に日本語学習を優先してほしい
2. 業務の都合がつけば、日本語学習に参加してほしい
3. 業務が第一優先であり、日本語学習のために業務を調整するのは難しい
4. その他 ()

地域の日本語教育に対する活動やお考えについておたずねします

問17 大阪市が運営する識字・日本語教室があることを知っていますか。(あてはまるもの1つだけ)

1. 知っているし、支援している外国人に紹介したことがある
2. 知っているが、支援している外国人に紹介したことはない
3. 知らない

問17で「1. 知っているし、支援している外国人に紹介したことがある」と回答した方のみお伺いします。

問18 支援している外国人に紹介している理由は何ですか。(あてはまるものいくつかでも)

1. 費用が安いから
2. 日本語能力の向上に役立つから
3. 地域の人とも交流できるから
4. 生活面などの相談にも対応してもらえるから
5. 他に日本語を学べるところがないから
6. その他 ()

問17で「2. 知っているが、支援している外国人に紹介したことはない」と回答した方のみお伺いします。

問19 支援している外国人に紹介したことがない理由は何ですか。(あてはまるものいくつかでも)

1. 職場や住まいから遠いから
2. 時間帯が合わないから
3. 日本語レベルが合わないから
4. 参加方法がわからないから
5. 学習内容や学習形態がわからないから
6. その他 ()

全員におたずねします

問20 支援している外国人で実際に識字・日本語教室に参加している方はいますか。(あてはまるもの1つだけ)

1. いる
2. いない
3. 把握していない

問21 貴団体では、現在、地域の日本語教育に対して下記のような活動を行っていますか。(あてはまるものいくつかでも)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 識字・日本語教室への支援者や講師の派遣 | 5. NPOや地域と連携した外国人の生活支援 |
| 2. 日本語学校での企業説明会や企業見学の実施 | 6. 地域に暮らす外国人の相談対応 |
| 3. 日本語学校や識字・日本語教室との情報交換 | 7. その他 () |
| 4. 地域に暮らす外国人の日本語学習支援 | 8. 特にない |

問22 今後、貴団体において、地域の日本語教育に対して協力が可能と思われる活動はどれですか。

(あてはまるものいくつかでも)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 識字・日本語教室への支援者や講師の派遣 | 5. NPOや地域と連携した外国人の生活支援 |
| 2. 日本語学校での企業説明会や企業見学の実施 | 6. 地域に暮らす外国人の相談対応 |
| 3. 日本語学校や識字・日本語教室との情報交換 | 7. その他 () |
| 4. 地域に暮らす外国人の日本語学習支援 | 8. 特にない |

問23 今後の日本語教育の充実に向けて、行政はどのような環境整備を行うべきだと思いますか。

(あてはまるもの3つまで)

1. 識字・日本語教室、日本語学校が新規開設を進めるための支援体制の強化
2. 識字・日本語教室、日本語学校の運営（経済的支援含む）や講座内容を充実させるための支援体制の強化
3. 日本語指導の資格を持った日本語教師を増やすための支援、研修の充実
4. 日本語ボランティアスタッフの養成や研修の充実
5. 行政によるゼロ初級レベルの日本語教育の充実
6. 外国人の日本語レベルやニーズに応じた日本語学習プログラムの開発
7. 外国人がレベルやニーズに応じた日本語学習を受けられるよう、識字・日本語教室や日本語学校の活動内容の紹介や情報提供
8. 他団体、日本語学校等との連携の橋渡し（コーディネート）
9. 日本語教育のコーディネーターの配置
10. 日本語学校や識字・日本語教室、NPO等日本語教育に関わる団体のネットワークの構築や協議会の設置
11. 外国人を雇用している企業との連携・協力体制の構築
12. その他 ()
13. 特にない

問24 日本語教育に関する行政（大阪市）の役割や環境整備に関するご意見をご自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。